

# 大西 勇喜謙

総合研究大学院大学  
先導科学研究科生命共生体進化学専攻 講師

〒 240-0193 神奈川県三浦郡葉山町湘南国際村  
先導科学研究科棟 3F 301B  
Tel: 046-858-1643  
Email: oonishi\_yukinori@soken.ac.jp

---

専門分野: 科学哲学

入門科目対応可能分野: 認識論, 研究公正, 科学技術社会論, 論理学

所属学会

Philosophy of Science Association, 日本科学哲学会、科学基礎論学会、応用哲学会

---

## 学歴

2003年3月 私立清風南海高校 卒業  
2003年4月 京都大学文学部 入学  
2007年3月 同学部 卒業  
2007年4月 京都大学大学院文学研究科 科学哲学科学史専修 修士課程 入学  
2009年3月 同課程 修了  
2009年4月 京都大学大学院文学研究科 科学哲学科学史専修 博士課程 進学  
2012年3月 同課程 研究指導認定退学  
2015年3月 同課程 博士号取得 (文学博士)

## 職歴

2010年4月1日-2012年3月31日 日本学術振興会特別研究員 DC2  
2012年4月1日-2013年7月31日 京都大学文学部 非常勤講師 (系ゼミナール)  
摂南大学非常勤講師 (基礎教養演習)  
2013年8月1日-2014年7月31日 フルブライト博士論文研究プログラム奨学生  
(マイアミ大学訪問研究員)  
2014年8月1日-2015年3月31日 京都大学文学部 非常勤講師 (系ゼミナール)  
2015年4月1日-2015年9月31日 奈良先端科学技術大学院大学非常勤講師 (科学哲学)  
2015年4月1日-2021年3月31日 総合研究大学院大学 助教  
2021年4月1日-現在 総合研究大学院大学 講師

## 受賞歴

石本賞（日本科学哲学会）2013年11月23日

## 研究助成・外部資金

- ・ 日本学術振興会特別研究員（2010 - 2012）
- ・ フルブライト奨学金 日米教育委員会（2013 - 2014）
- ・ 若手研究者による国際ワークショップ 京都大学 1,900千円 2016年度.
- ・ 日本学術振興会 科学研究費 若手研究「科学的表象理論に基づく『データのモデル』の分析と科学的实在論論争への含意の検討」2018 - 2020年度. 総額3,250千円（研究代表）
- ・ 日本学術振興会 科学研究費 基盤B「科学的实在論論争の歴史的パースペクティブ上での再検討」2018 - 2020年度. 総額7,930千円（分担）

## 研究業績

### 学位論文

Yukinori Onishi, *Epistemological Analysis of the Scientific Realism Debate*, Doctoral dissertation thesis submitted to Kyoto University, 2015.

審査委員：伊勢田哲治（主査），伊藤和行，出口康夫

### 査読論文

- ・ Yukinori Onishi and Davide Serpico (Co-first). “Homeostatic Property Cluster Theory without Homeostatic Mechanisms: Two Recent Attempts and their Costs.” *Journal for General Philosophy of Science*, 2021 (Online-first).
- ・ Yukinori Onishi and Otávio Bueno (Co-first). “The likelihood ratio measure and the logicity requirement.” *Erkenntnis*, 2020 (Online-first).
- ・ 大西勇喜謙. 「科学哲学と研究公正」『地盤工学会誌』67-9 (740): pp. 52-59. 2019. (依頼あり).
- ・ Yukinori Onishi. “Defending the selective confirmation strategy.” *Studies in History and Philosophy of Science, Part A*. Vol. 64, pp.1 - 10, 2017. (DOI: 10.1016/j.shpsa.2017.07.001)
- ・ 大西勇喜謙. 「調和主義的観点からの实在論論争」, 『科学哲学科学史研究』第6号, pp. 39 - 59, 2012.
- ・ 大西勇喜謙. 「認識論的観点からの实在論論争」, 『科学哲学』44号, pp. 65 - 81, 2012.
- ・ 大西勇喜謙. 「实在論論争の舞台を考える—Van Fraassenの主意主義的認識論の検討を中心に—」, 『科学哲学科学史研究』第4号, pp. 65 - 83, 2010.

### 査読なし論文

- ・ 大西勇喜謙, 「認識論的観点からの实在論論争—信頼性主義を例に—」, *Nagoya Journal of Philosophy*, Vol. 10, pp. 37 - 57, 2011. (招待あり)

- ・ 大西勇喜謙, 「理論観の転回とモデル概念」, 『科学哲学科学史研究』 第2号, pp. 101 - 116, 2008. (サーベイ論文)

#### その他の原稿

- ・ 総合研究大学院大学 科学知の総合化特別委員会. 『科学知の総合化プロジェクト成果報告書』 2016年3月 (編集/一部執筆).
- ・ 大西勇喜謙, 「国際学会参加報告記」, 日本科学哲学会ニュースレター No.47, 2011.
- ・ 大西勇喜謙, 書評: A Metaphysics for scientific realism: Knowing the unobservable 『科学哲学科学史研究』 第5号, pp. 123 - 126, 2011.
- ・ 大西勇喜謙, 書評: Scientific representation: Paradoxes of perspective 『科学哲学科学史研究』 第4号, pp. 146 - 148, 2010.

#### 口頭発表

2019

- ・ 大西勇喜謙. 「科学的实在論論争における観察装置をめぐる議論」ワークショップ「観測・視覚化と实在」日本科学哲学会年次大会. 慶應義塾大学三田キャンパス. 2019年11月10日.
- ・ Yukinori Onishi. “Deep Neural networks and the aim-of-science dispute.” CLMPST 2019. Czech Technical University, Prague, Czech, Aug 9th, 2019.
- ・ Yukinori Onishi and Davide Serpico. “Is everything fine if natural kinds are nodes in causal networks?” GWP 2019, Universität zu Köln, Feb 25th, 2019.

2018

- ・ Yukinori Onishi. “Neural networks and the aim-of-science dispute.” Workshop on the Diversity of the Scientific Realism Debate. Japan Association for Philosophy of Science Fall annual meeting, Nihon University, Nov 10th, 2018.

2017

- ・ 大西勇喜謙. 「科学的实在論論争の基本的論争構造」第6回 量子基礎論研究会. 名古屋大学東京オフィス. 2017年3月7日. (招待あり)
- ・ Yukinori Onishi (speaker), Nozomi Mizushima, Kaori Iida, Kenji Ito. “Deeper Understanding through a Broader Perspective: Report of Research Integrity Education at SOKENDAI.” Asia and Pacific Rim Research Integrity Network (APRIN) Meeting, Hong Kong University, Hong Kong. Feb 21st, 2017.

2016

- ・ Yukinori Onishi. “Defending the selective confirmation strategy,” International Workshop on Scientific Realism, Kyoto University, Jul. 30th, 2016.
- ・ 大西勇喜謙, 「科学的实在論論争とは何か」学融合セミナー, 総合研究大学院大学 学融合推進センター, 2016年5月18日.
- ・ 大西勇喜謙, 「科学における視覚表象についての科学哲学的関心」, ワークショップ「現代科学における視覚表象の認識論へ向けて」, 応用哲学会第8回年次大会, 慶應大学三田キャンパス, 2016年

5月7日。(招待あり)

- ・ Yukinori Onishi, “Defending selective confirmation strategy,” GWP 2016, Universität zu Düsseldorf, Germany, Mar 11th, 2016.
- ・ 大西勇喜謙「科学におけるコンピュータ・シミュレーションについての科学哲学的関心」コンピュータ・シミュレーションの科学論研究会, 国立科学博物館, 2016年3月5日.

2014

- ・ Otávio Bueno, 大西勇喜謙, 「尤度主義の技術的問題点について」科学哲学若手の会, 京都大学, 2014年9月28日.
- ・ Yukinori Onishi, “Misconception as a form of acceptance,” Southern American Japan Seminar, Florida International University, Mar.7, 2014.

2013

- ・ 大西勇喜謙, 「選択的实在論をいかに擁護するか」, 科学基礎論学会, 大阪大学, 2013年6月13日.

2011

- ・ 大西勇喜謙, 「新帰納法が提示する新たな論点」, 応用哲学会臨時研究大会ワークショップ, 京都大学, 2011年9月25日.
- ・ Yukinori Onishi, “The Scientific Realism Debate from the Epistemological Viewpoint,” 14th CLMPS, Nancy, France, Jul 19-26, 2011.
- ・ Yukinori Onishi, “Analyzing the Scientific Realism Debate from the Epistemological Viewpoint,” The First Japan-Korea Workshop on Philosophy of Science, Kyoto University, Kyoto, Feb 21-22, 2011.

2010

- ・ 大西勇喜謙, 「認識論的観点からの实在論論争—信頼性主義を例に—」, 名古屋哲学フォーラム, 南山大学, 2010年9月11日。(招待発表)
- ・ 大西勇喜謙, 「認識論的観点からの实在論論争—文脈主義を例に—」, 京都科学哲学コロキウム, 京大会館, 2010年7月25日.

2009

- ・ 大西勇喜謙, 「認識論的観点からの实在論論争」, 日本科学哲学会第42回年会, 高千穂大学, 2009年11月21日.

## 社会貢献

- ・ 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター専門調査員 (2017年度)
- ・ 先端科学研究科 学術講演会「ヴェールの向こう側：科学は我々に何を教えるのか」 2017年11月3日. 総研大葉山キャンパス
- ・ フルブライト奨学生渡航前オリエンテーション リソースパーソン, 2016年6月6日.
- ・ Florida Statewide Japanese Speech & Skit Contest 審査員, Florida International University, Mar.29, 2014.

## 査読担当

科学基礎論研究/科学哲学/ International Studies in the Philosophy of Science/ Contemporary Scientific Realism: Challenge from the History of Science, (T. Lyons and P. Vickers eds., Oxford University Press, under contract)/ Synthese

## ワークショップ・シンポジウム企画

- ・ ワークショップ「データ同化の科学論へ向けて：研究実践から論点を探る」科学基礎論学会 秋の研究例会. 日本大学. 2019年11月30日.
- ・ シンポジウム企画委員. The 10<sup>th</sup> Anniversary International Symposium, Evolutionary Studies of Biosystems: History, the cutting edge and the future. Shonan Village Center, Feb 26-27, 2018.
- ・ ワークショップ：International Workshop on Scientific Realism. Kyoto University. Jul 30-31, 2016. Invited speakers: Juha Saatsi, Timothy Lyons, Teru Miyake, Ruey-Lin Chen, Karen Yan, Jonathon Hricko, Minwoo Seo, Rei Nouchi, Tomoko Ishida, Satoshi Kudo.
- ・ シンポジウム企画委員. 科学知の総合化プロジェクト最終年度シンポジウム「科学と社会とのより良い関係へ向けて」東京コンベンションホール. 2016年2月20日.
- ・ ワークショップ：Representation, reality, and the philosophy of special sciences. Japan Association for Philosophy of Science Fall annual meeting, Nihon University, Nov 6th, 2011. Invited Speakers: Szu-Ting Chen, Hisashi Nakao, Rei Nouchi.
- ・ ワークショップ「科学的实在論論争の諸論点を再訪する」応用哲学会臨時研究大会ワークショップ, 京都大学, 2011年9月25日.

## 担当科目

### 本務校

- ・ フレッシュマン・コース (分担：研究者倫理担当, 日/英)
- ・ 科学・技術と社会 I, II (分担：科学哲学担当, 日/英)
- ・ 生命科学と社会 I (分担：科学哲学担当, 日)
- ・ 科学と社会 副論文入門 (分担, 日)

### 非常勤

- ・ 研究者倫理 (東京電機大学, 日)
- ・ 研究公正 (東北大学, 分担：研究者倫理担当, 日)
- ・ Science, Technology and Society (国立台湾大学, 分担：研究者倫理担当, 英)
- ・ 科学哲学 (奈良先端科学技術大学院大学, 日)
- ・ 基礎教養演習 (摂南大学, 日)